

# 2021年度 入学試験問題

## 帰国生入試

# 国語

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は30分間です。
3. 問題は□～■までです。
4. 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
5. 解答用紙に受験番号、氏名を書きなさい。

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

自分で言ってしまうけれど、私は世界一の<sup>注1</sup>ナマコ研究者だ……などと自慢<sup>まん</sup>しても、実は世界に10人くらいしかナマコの研究者はいない。ナマコなど研究していると、よくこう聞かれる。「そんなもの研究してなんの意味があるの？」と。まさにおっしやるとおり。私が研究しているのは食べるナマコではないし、ナマコの研究者がいなくなっても、私も君たちも、そして世の中も、そんなには困らない。

でも、やっぱり世界に10人くらいはナマコ研究者がいなくてはならない。ナマコは生物。私も生物、君たちも生物。生物を知るためにはほかの生物も知らなければいけない。「皆さんもぜひ生物学者になろう！」などとは言わないが、生物学を学ぶ意味はもちろんある。

君たちは今いろいろな科目を習っている。けれど、それが将来なんの役に立つのか？ なんて考えたら、直接は役に立たないかもしれないし、数学者にならないから数学は勉強しない、と開き直る人もいるだろう。しかし「数」という<sup>注2</sup>概念はとても重要なものだ。

例えば、人間は一人ひとり個性が異なるかけがえない存在だが、数えるとあなたと君と私で「三人」となる。だから手は六本。「三」を<sup>注3</sup>普遍的<sup>へん</sup>に考えると $3 \times 2 \parallel 6$ という数式が成り立ち、それに<sup>注4</sup>則<sup>のつと</sup>っているいろいろなことを考えることができる。手が二本と六本とでは、やれることに<sup>ちが</sup>違いが出てくる。数式化できれば、とても便利で、リンゴが落ちるのも、月が地球の周りを回るのも、同じように抽象化<sup>ちゆう</sup>して考えて、<sup>注4</sup>ニュートンの<sup>注5</sup>運動方程式に則<sup>のつと</sup>って計算できるからこそ、りっぱな建物が建てられるし、ロケットを打ち上げることができる。

お米も牛乳も鉛筆<sup>えんぴつ</sup>もまったく異なる物質だけれど、お金<sup>か</sup>貨幣<sup>はい</sup>で買うことができる。鉛筆が一本100円、お米が10キロで3000円と値

段を付ければ、お金という抽象的なもので交換<sup>かん</sup>が利<sup>き</sup>く。そうでなければ経済学が成り立たない。「万物は数である」と言ったのは古代ギリシャの哲学者ピタゴラスだが、すべてを抽象的な数で考えたからこそ、<sup>注6</sup>貨幣経済が可能になったのだ。君たちがお金を出してものを買うことの背景には数学がある。今の社会でまともな人間として生きるには①数学を勉強しなければならぬ理由はここにある。

同じように、君たちがまともな生き物として生きていくには生物学を学ばなければならぬ。自分自身を知るには、生物について勉強しなければいけないのだ。

なぜ勉強するのか？ という問いに対して、ギリシャの偉大な哲学者であり生物学者の祖でもあるアリストテレスは「②三つの知識」を考えた。(1)生活の必要のための知(実用の知)、(2)快樂のための知、(3)学問的(理論的)な知である。

「生活の必要のための知」とは、交通ルールを知らなければ自動車にひかれてしまうし、<sup>注7</sup>稲の生態や天候、そして水をどう引いてくるかという土木の知識がなければお米をつくることもできない。お金を稼<sup>かせ</sup>ぐにはなんらかの専門家にならなければいけないが、そのためには勉強しなければならぬ。これらはすべて生活に必要な、実用の知だ。

また、勉強は「快樂」につながるものでもある。スポーツを楽しむにはルールを学ぶことが必要だ。さらに、現代社会のさまざまな技術は、よりおいしく、より便利に、より快適に、という私たちの快樂に奉仕<sup>ほう</sup>するものでもある。

**A**、アリストテレスが「高貴なる知」と呼ぶ「学問的な知」がある。アリストテレスの著書『形而上学』の冒頭<sup>ぼう</sup>には「すべての人は生ま

れながらにして知ることを欲する」と記されている。知ることは楽しみなんですね。知ることは安心への道でもある。自分がこの世の中でどういう位置を占めていのかを知ると安心できるが、逆に知らなければ不安が募る。知る楽しさをもとに、世界を知り、自分自身を知り、それによって世界の中での自分の位置を知る。これが学問の楽しさだ。

**B** 次に、なぜ生物学を含む科学を学ぶ必要があるのかをわかりやすく説明しよう。

私たちが生きていくためには、三つのパンが必要だと私は思っている。「体のパン」「心のパン」「**③** 脳のパン」だ。

聖書に**注7**「人はパンのみにて生きるにあらず」という有名な言葉がある。パンを供給するための農学や経済学などを実学と呼ぶ。これが「体のパン」である。

**C** 私たちはパンがなければ生きていけないが、それだけでは満たされない。体だけでなく、心にもパンを与えなければ心が干からびてしまうだろう。そこで宗教や芸術といったものが「心のパン」に当たる。

三つめの「脳のパン」が理学部や文学部で行う学問だ。私たちの生活を便利にするためでもなく、たくさん食べ物をつくるためでもない。例えば、食べられないナマコを研究してもあまり役に立たないが、このような学問を「**④** 虚学」という。

虚しい学問なんてひどい呼び方だが、なぜこんな生き物が存在するのかを研究したりして、世のさまざまな物事について知るとは、すなわち自分の世界を広げることになる。これによって脳みそが快感を覚えるのだ。

虚学とは霞を食って生きる学問である、と常々私は公言しているが、ほんとうに虚学なんかやってもお金はなかなか稼げない。しかし、

霞がなければ脳みそは枯れてしまう。君たちだって生きることとは関係なくとも、音楽が聴きたくなったり、絵画を見たくなくなったりするだろう。それが人間という存在だ。

理科なんて将来の自分の職業に関係ないから……なんて思ったら脳みそが偏った人間になってしまう。君たちは成長期なのだから食べ物と同様に偏食せず、いろいろな勉強をすべきだ。

さて、君たちが勉強する大きな目標の一つは、仕事に就いてお金を稼いで生きていくためだろう。では、**⑤** 将来どんな仕事に就いたらいいか。

最近「自分の好きなことを仕事にしない」という風潮だが、**⑥** これはいかがなものかと私は思う。

例えば、ベストセラーになった**注8**。ローティーンのための職業案内書を見ると、「これが好きな人にはこんな職業があるよ」という構成になっている。好きなことといえば「僕はサッカーが好き」「僕は野球が好き」「私は歌うのが好き」となるだろう。しかし、みんながプロ選手や歌手になれるか？ 一〇〇人いても確率はほとんどゼロ。誰一人、本田圭佑にもイチローにも浜崎あゆみにもなれない。これは至極当然なことだ。

とすると、みんなが自分の好きなことを職業にしようとしたら、世の中は挫折した人間であふれてしまう。「私は好きなことができなかった。私の人生は挫折の人生だ……」と**注9**鬱々とした人生を過ごすことになる。もしも君たちが「自分の好きなことを仕事にしない」という指導を受けたなら、「この人は私を不幸にしようとしている」と考えたほうがよい。

だから、職業を選ぶ際は「好きなことをする」ではなく「世の中で大

切なことをする」と考えたほうがよい。特別に好きではないけれど嫌いではない、これだったら私は結構やれるし、それなりに社会の役に立っているなあ、と思えるものを見つけていくことが、現実的な職業選びだと私は考える。

君たちはこれから大人になっていく。大人になるということは自分で食べていくということ。子どもの頃は親のおかげで、好きなことや好きなものだけとつき合っていられたかもしれないが、世の中に出たらそうはいかない。嫌いな人、嫌なことはたくさんある。そういうものときちんとつき合っていけることが大人になるということだ。

(一部表記をあらためました)

【本川達雄「生物学を学ぶ意味」】

注1 ナマコ：海に住む動物。

注2 概念：ものごとをまとめた意味内容。

注3 普遍的：多くの物事にあてはまるようなこと。

注4 ニュートン：英国の物理学者・天文学者・数学者。

注5 運動方程式：物体の運動を決定する式。

注6 貨幣経済：貨幣を使って商品の交換が行われる経済の仕組み。

注7 「人はパンのみにて生きるにあらず」：キリストの言葉で、人は物を豊かに持つことだけで生きていくのではなく、神様の素晴らしい言葉に養われて生きていくのだということ。

注8 ローターン：十代前半の年代。

注9 鬱々：ゆううつな様子。

問一  A  C に当てはまる言葉を、次のア～カからそれぞれ選

びなさい。(同じ記号は二度使用しないこと)

ア なお イ では ウ そして

エ だから オ なぜなら カ しかし

問二 線①「数学を勉強しなければならぬ理由」について説明した次の文の  に当てはまる言葉を、本文中から十三字でぬき出しなさい。(句読点なども一字にふくみます。)

\*  ことにより、人間社会特有の様々な活動が可能になったから。

問三 線②「三つの知識」の具体例の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

ア (1)は、交通ルールを学ぶこと、(2)はスポーツのルールを学ぶこと、

(3)は生物学を含む科学を学ぶこと。

イ (1)は、土木の知識を学ぶこと、(2)は経済学を学ぶこと、(3)は生物学を含む科学を学ぶこと。

ウ (1)は、ナマコを研究すること、(2)は現代社会のさまざまな技術を学ぶこと、(3)は生物学を含む科学を学ぶこと。

エ (1)は、専門家になるため勉強すること、(2)はスポーツのルールを学ぶこと、(3)は宗教や芸術を学ぶこと。

問四 線③「脳のパン」という言葉で説明しようとしている学問の意味とはどのようなことですか。四十字以内で説明しなさい。

問五 線④「虚学」の反対の意味の言葉を、本文中から漢字二文字でぬき出しなさい。

問六 線⑤「将来どんな仕事に就いたらいいのか」とありますが、筆者はどんな見方で職業を選んだほうがよいと言っていますか。「この見方。」に続く形で本文中からぬき出しなさい。

問七 —— 線⑥ 「これはいかがなものかと私は思う」とありますが、

筆者が「これ」に疑問を感じているのはなぜですか。その理由を述べた一文を本文中からぬき出し、最初の五字を答えなさい。（句読点なども一字にふくみます。）

問八 本文の内容として最も適当なものを、次のア～エから選びなさい。

ア 筆者はナマコの研究者がいなくなっても、世の中で困る人はいないから、ナマコ研究者が世の中からいなくなってもよいと述べている。

イ 筆者はアリストテレスの「高貴なる知」に影響を受け、ナマコ研究者を目指したと述べている。

ウ 筆者は理科なんて将来の職業のために関係ないと考えて勉強しないと脳みそが偏った人間になるから、いろいろな勉強をすべきだと述べている。

エ 筆者は大人になるということは自分で食べていくことだから、嫌いな人や嫌いなことはできるだけさけるべきだと述べている。

二 次の1～10の——線のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

- 1 スイドウカンに穴があく。
- 2 社会のカイカクが進行する。
- 3 工場の動力はジョウキで動いている。
- 4 大正時代の美しいケンチク物を見学する。
- 5 うさをシイクする。
- 6 民族のサイテンが行われる。
- 7 父のイヒンを整理する。
- 8 仏像を拜む。
- 9 主役を務める。
- 10 偉人の言葉は尊い。

三 次の1～5の故事成語の□に当てはまる漢字を入れ、意味を後のア～キから選りなさい。(同じ記号は二度使用しないこと)

- 1 □ 敵ミカ
  - 2 □ 馬の友
  - 3 □ 一挙両□
  - 4 □ 故知新
  - 5 □ 夫の利
- ア 一つの事を行って、同時に二つの利益を手に入れること。  
イ 第三者が利益を横取りすること。  
ウ 幼いころから親しい仲であること。  
エ 利益がある一方で害もあること。  
オ 昔のことながらを勉強し、現代でも通用する知識につなげること。  
カ 詩や文章を十分に考えて練りなおすこと。  
キ 一つの事から複数の意味をつかみとること。